

流通調査解説 販売低調で在庫は増加傾向、コラム販売量は前月比4割強増〔2022年2月〕

＜総計欄＞ 2月の仕入量は149,997トン前月比+3.0%、前年同月比+0.5%、販売量は141,885トン前月比+7.5%、前年同月比+0.5%。仕入量・販売量ともに前月比増加、前年同月比微増となりました。在庫量は250,884トン前月比+3.3%、前年同月比+8.6%、在庫量は前月比、前年同月比ともに増加しました。在庫率は176.8ポイントと若干下降しましたが、いまだ高い在庫率です。

2月の販売は前月と同じく不需要期の季節的要因もあり、建築物件も少なく低調な販売が続きました。荷動きの悪さから在庫は更に増加しました。

＜販売欄＞ 品種別では異形棒鋼8.4%増加、東京11.1%著増、大阪7.0%増加、愛知9.8%著減しました。H形鋼は4.5%増加、東京0.7%微増、大阪5.0%増加、愛知11.5%著増しています。その他品種では山形鋼6.3%増加、溝形鋼4.0%増加、コラム41.5%著増、C形鋼0.6%微増しています。

＜在庫欄＞ 品種別では異形棒鋼2.0%増加、東京3.5%増加、大阪8.4%増加、愛知3.1%減少しています。H形鋼は5.9%増加、東京7.6%増加、大阪2.0%増加、愛知12.9%著増しています。その他品種は山形鋼0.2%微減、溝形鋼1.0%増加、コラム3.8%増加、C形鋼3.4%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

